

## 「通訳ガイドに役立つ 英語小噺と英語落語」

7-7-7（令和7年7月7日）。このトリプルセブンの幸運な七夕の日に『通訳ガイドに役立つ 英語小噺と英語落語』が開催されました。

会場： 台東区民会館第4会議室

参加者：37名（会員25名、非会員12名）

東京、神奈川、千葉、埼玉、茨城、愛知、静岡、京都、広島

講師： 落語家 鹿鳴家英楽（かなりや・えいらく）師匠

社団法人英語落語協会代表理事



今回の研修も英楽師匠のウクレレ漫談から始まりました。牧伸二さん、また英楽師匠の師、立川談志さんについてのお話に懐かしく心が和んだところで、徐々に予定の研修項目に移りました。

「日本の歌を英語で歌おう」

「英語小噺」

「落語寿限無、時そば」

皆で読みあわせをしたり、希望者の発表あり、そして師匠のフルバージョンの「落語寿限無、時そば」に耳を傾けているうちに、あっという間に16:30のお開きとなりました。



以下盛りに盛り上がった研修第2弾の内容です。

英楽師匠は「私の奥義をお教えします」と開口一番仰ってから、ウクレレ漫談で会場を盛り上げました。その後の研修会を通じて惜しみなく師匠の秘伝を教授して頂き、参加者一同は大感激。

師匠オリジナルの坂本九の英語版 “上を向いて歩こう” を歌った後は、英語でなぞかけを作るヒントを習いました。

英語小噺の英文スクリプトを全員で読んだ後、参加者からご自分で作られた英語小噺の披露。



寿限無と時そばの短縮版を実際に参加者が高座に上がって練習体験をしました。京都からの非会員さん、JGAの会員の落語挑戦は落語家の雰囲気が出ていました。

日本の聴衆、子供たち、学生のみならず、多くの国で海外公演を重ねる英楽師匠の笑いと聞き手を和ませる話の進め方を実際に体験。用意された資料と一緒に読み上げる師匠の英語はなめらかで表情豊かでした。

過去に高座を見ても気が付かなかった、所作に現われる日本文化の話に一同「ほお～」と感嘆。落語で使う扇子と手拭いはそろばん・請求書・手紙・封筒・キセル・刀・槍など実に沢山なものに見立てる事ができるものだと改めて感心です。ご存じ「時そば」で上手な音を出すのがこんなに難しいとは皆さん笑いながら挑戦。

通訳案内士として活躍されている皆さんから、今日伝授された師匠の奥義が訪日外国人を通して世界に伝播され、落語が日本の伝統芸能の一つとして世界に広まれば、研修会を企画した我々の望外の喜びです。

次の英語落語は 笑いの本場、関西です。

8月9日(土)、京都にて。(申し込みはお早めに)

[https://www.jga21c.or.jp/data\\_files/view/1621/mode:inline](https://www.jga21c.or.jp/data_files/view/1621/mode:inline)

第一支部「通訳ガイドに役立つ 英語小噺と英語落語」第2弾担当